



R-18
ADULT
ONLY

聖心女子学院の

オナホ

聖二星七璃女学院

ふたほしななり

深い森の中、高い塀が覆う
美しい異国の洋館を
学舎に用いた
名門全寮制女学校

家柄、容姿：
全てを品評され

許された
特別な少女のみが
立ち入ることを許された
乙女の花園である

上品な丈の
制服に身を包み

小鳥のようにさえずる
乙女たちの中で

最も高い位置に
咲く花

ごきげんよう…

ごきげんよう
蘭子お姉さま！

成績優秀
品行方正
眉目秀麗

首席生徒
小糸色
蘭子

——ではない



いつから
蘭子と
話さなく
なった
んだろう

くっさ…
相変わらず
最悪な部屋…

双子の妹
蘭子は
同じ顔の
出来損ない
である私を



凜子
あんた
精子くさいのよ

軽蔑
していた



良いご身分よね
アンタが寝てる間

私がどれだけ
机に向かって
いるかわかる？



…来月から私
二星七璃学院
超名門学校に行くの

娘が通うだけで
家の格が上がる
レベルのね

恥ずかしい
身内の存在なんて
ありえないの

だから
アンタと顔を
合わせるのも
多分これが最後ね

じゃあね

両親は
両性具^{ふたなり}有^{あり}を
奇異の目で
見た

蘭子は
普通の女の子なのに…

どうして
凜子は…

蘭子は優秀で
勉強も運動も
常に一番

両親から私の扱いを
学ぶのも早かった

凜子
私と蘭子が
同じなのは顔だけ

彼女は
私にないもの
全てを持っていた

ゴミだめの中に
私をおいて
輝かしい道へ
去って行った彼女は

学園でも
完璧な成績を
維持し続け

ある日
失踪した

来い！
お前も少しは
役に立ってみせろ！

な…なにっ…!?

蘭子がいるからと
甘やかしすぎた

蘭子が逃げたなんて
あってはならない…！

二星の首席だったんだぞ!?
どれほどの事かわかるか!?

いいか
とにかく蘭子が戻るまで
偽り続けるんだ!!

蘭子の偽物くらい
つとめてみせろ！

おお…
見た目は
そっくりだ…

ふふふ…

いっ…

ふふ…

ふふ

そして
最低限の知識と
振舞いを叩きこまれ
私は学院に送られた

蘭子が逃げた
ような場所……
私が耐えられる
わけがないのに……!!

ごきげんよう
蘭子くん

なんか……
キラキラした人……

おや?
なんだか
顔色が良くないね……

少し
熱いんじゃないか?

ひよえっ

顔も赤いね

近い近い近いっ
このひと
すごくいい匂い……!!

蘭子お姉様と鈴蘭お姉様……
オーキッドの姫君よ
素敵……!!

生徒会長
ひかりのいん すずらん
光乃院 鈴蘭



白百合ちゃんたちも遅刻しないようにね

…じゃあね、蘭子君無理はしないように



僕と蘭子君の仲なの…♡

そんなに照れることないだろう？



どんな仲…？
女子校だと普通ってコト…？
白百合ちゃん…？
おかし…？



二星七璃学院では
体育の授業で
バレエを修める

当然服装は
レオタード
である

白タイツ

無理ッ

絶対無理
こんなのっ

バレエって
こんなカッコ
するの…!?

女の子たちの
生着替えに
囲まれて…

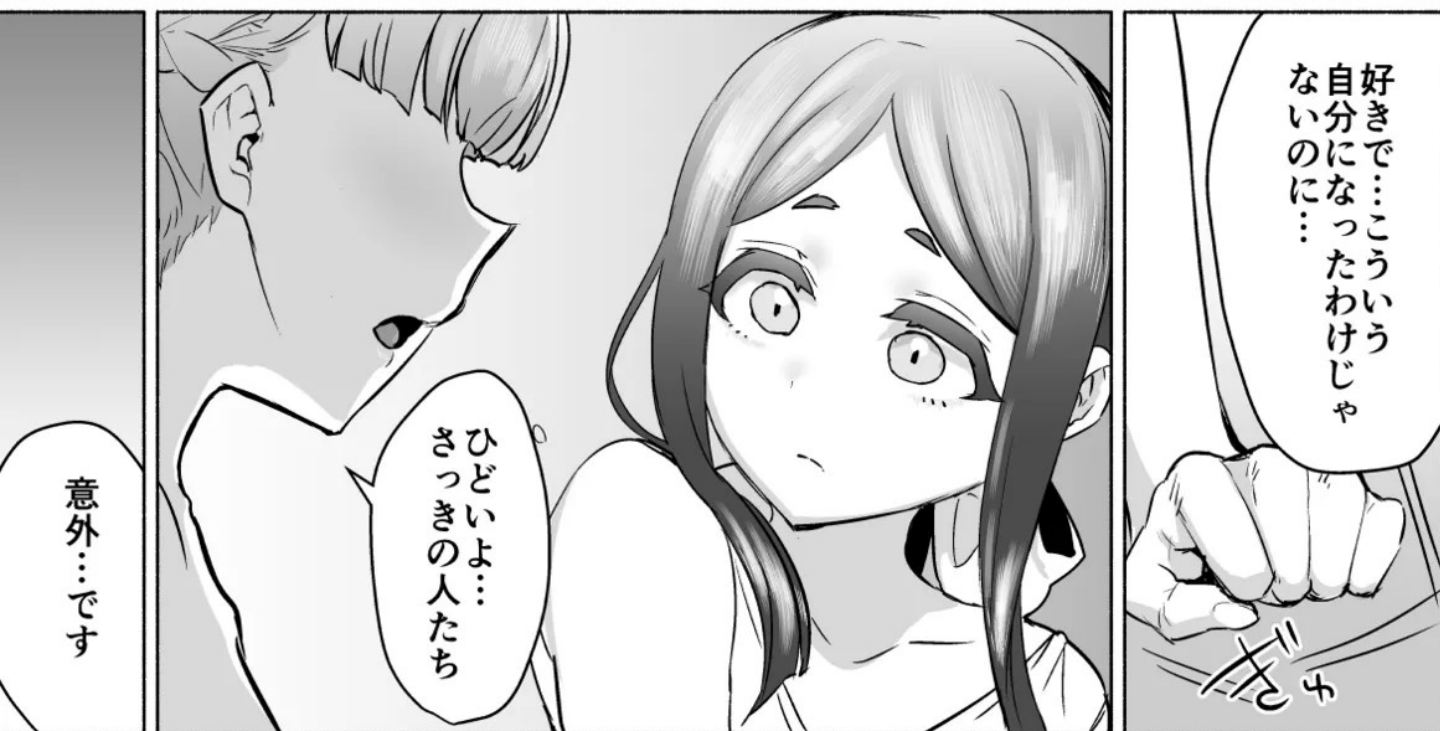
とんでもなく
勃起してる…

どうしよう
一回こっそり抜いて…
ああでもどうせ
授業中女の子たちが
レオタードで足開く
ところをずっと
見てるわけで
結局勃起してくるに
決まってるし
ていうか女子トイレとかで
精子出すこと考えてたら
余計硬くなってきたし

みなさんご存じの通り
ふたなりの多くは凄まじい
性欲と精力に悩まされる

もだもだしていたら
みんな着替え終わって…





私は…

…戸佐さんより
ずっと異物だし

なんで蘭子が
あんなに頑張れるのか
分からない…

私に分かるのは

戸佐さんがずっと
逃げずに頑張
って
いたおかげで

こうして
会えたから

嬉しいなって
ことだけ

なんだか…
一人じゃないって
思えたんだ

私も
がんばろう…って

……

こんなに
人と話したの
久しぶり…

：私のレオタード
持ってくるね
予備あるから

お嬢様学校指定の
白タイツが軟弱すぎて
ボツキチンポが
突き破っちゃった

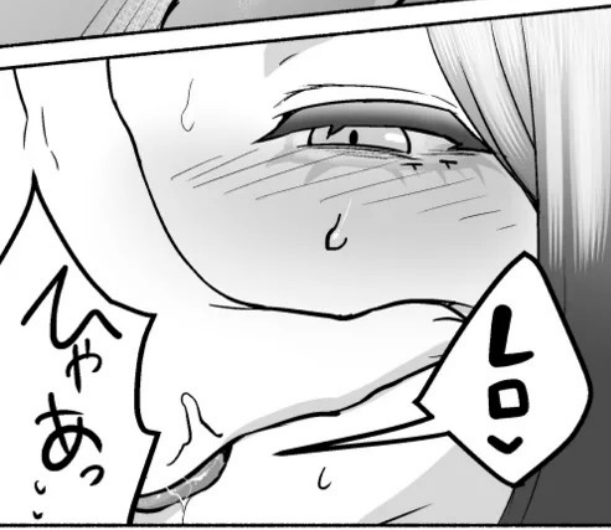


小糸色さ…っ

お願い…！
大人しくして…！

私…っ
蘭子として…っ

隠し通さなきゃ
いけないの…！



んやあ…

しゅわん



でい…
ですよ…



それ…
そのままじゃ
困りますよね



どうしよう
どうしよう

なんて言えば…

…この切り方
なんなの？

なにもこんな
いやらしく
いじめなくても…

…腰前に
出したら膣内
挿入っちゃう…っ

女の子の…おまんこっ
やわらかっ…っ
チンポでキスしちゃってる…

プニョプニョ
してエッチすぎる…

じゃなくて…っ



生おまんこっ♡

おまんこハメ♡
すごっ♡
夢にまで見た
生おまんこっ♡

気持ちいいっ♡
一個一個の肉ヒダが
ぎゅーぎゅーに
まとわりついてっ♡

愛しいっ♡
滅茶苦茶に
したいっ♡

おまんこ肉
磨いて
ピカピカに
したいっ♡♡

女の子が私のチンポ
受け入れてくれるって
分かった瞬間、

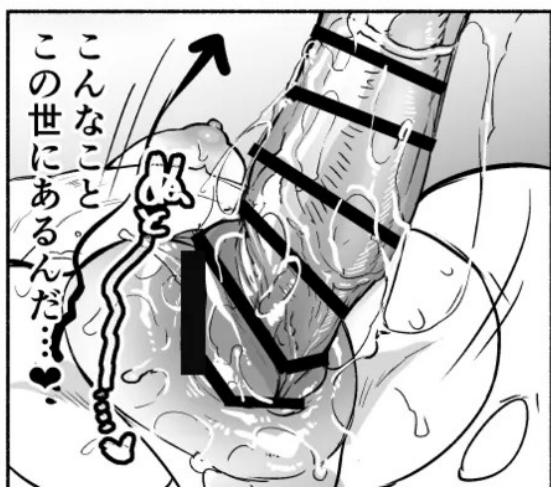
頭パリー
なっちゃった…♡

こんな多幸感…
狂っちゃう…♡

脳ミソから
我慢汁でてるっ…♡

うれしい…♡
愛しい…♡
かわいい…♡
好き…♡

ぜったい
孕ませる♡



射精すっ♡
精子ドピユるっ♡♡♡
卵子囲んで
レイプするっ♡♡

だいすきっ♡
孕んで♡♡
私だけのオナホに
なって♡♡♡

んおろろろっ♡♡♡
ザーメンドピユるっ♡♡♡

思いつき腰振りながら
無防備おまんこ穴に
びゆるびゆる
排泄すんのきもちっ♡♡♡

射精すっ♡
精子ドピユるっ♡♡♡
卵子囲んで
レイプするっ♡♡

おはははは

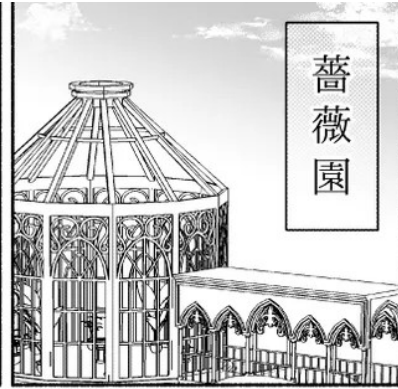
おはははは

おはははは

おはははは











あなたが
誰でも
構いません

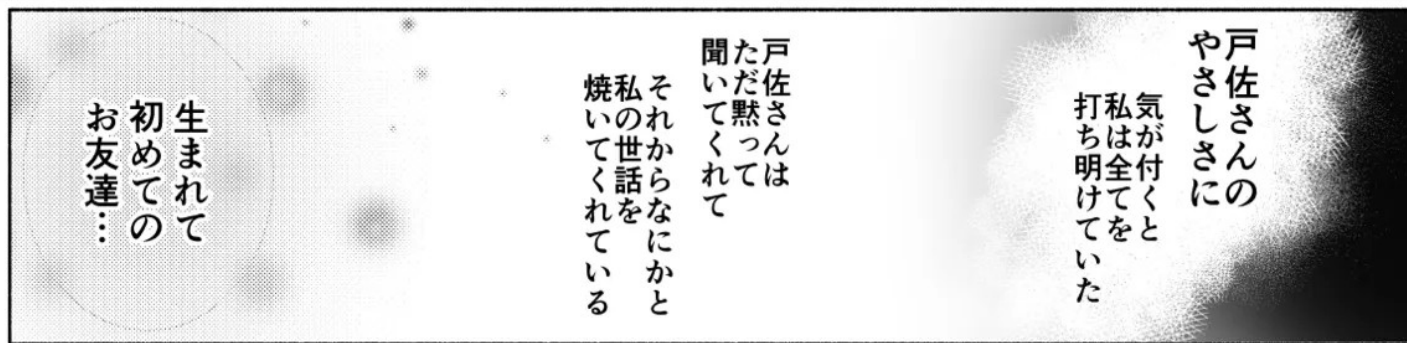


私…
小糸色蘭子より
あなたの方が
好きです



ん…別に…
怒ってないです
……

ごめんなさい…
ごめんなさい…
……



戸佐さんの
やさしさに

気が付くと
私は全てを
打ち明けていた

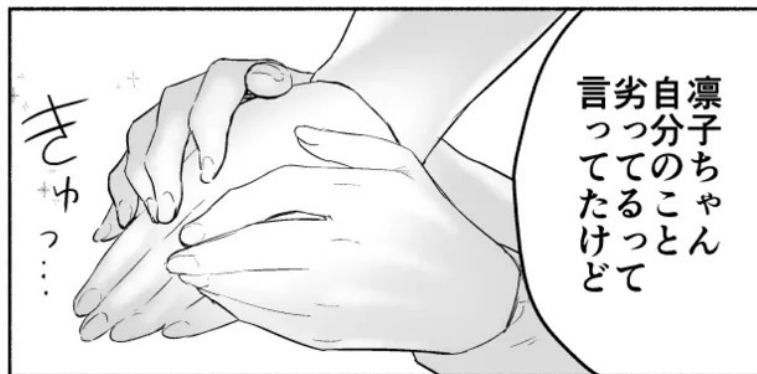
戸佐さんは
ただ黙って
聞いてくれて

それからなにかと
私の世話を
焼いてくれている

生まれて
初めての
お友達…



戸佐さん…



凜子ちゃん
自分のこと
劣ってるって
言ってたけど



そんなことないです
覚え…早い…

成績もすごく
上がってる…

教えるの…
楽しいです



ありがとう…





いいんですかあ？
鈴蘭様…♥

この子達
食べちゃってえ…♥





……っ！
蘭子のこと…
なにか
知ってるの!?



はっ
よく知ってるとも



賢く美しく
傲慢で
目障りな女さ……！
落ち目の家の分際で…
あの見下した態度…



ふふ…しかし
君のご両親は
家の格を保つために
わざわざ学園に
傲慢の娘を送って
ご苦労なことだよねえ

僕たち
本物の名家への
貢物にさあ

しかも

消えたと伝えたら
娘を追加で補充して
きやがった…
くくっ…笑わせるよ



……
蘭子に…
なにかしたの…?



人聞きが
悪いね…
消えたんだ
安心しなよ
君は消えない

僕は君をなかなか
気に入ってるんだ



だもつと
仲良くなれないと
信頼はできない

僕は案外
用心深いんだ

あーん♡
胸おっきい…♡

ブラのサイズが
合ってませんわ…
凜子お姉さま…♡

凜子お姉さまより
大きいのでなくて？

綺麗な
朱鷺色…♡

大きい乳輪…♡
いやらしいですわ♡



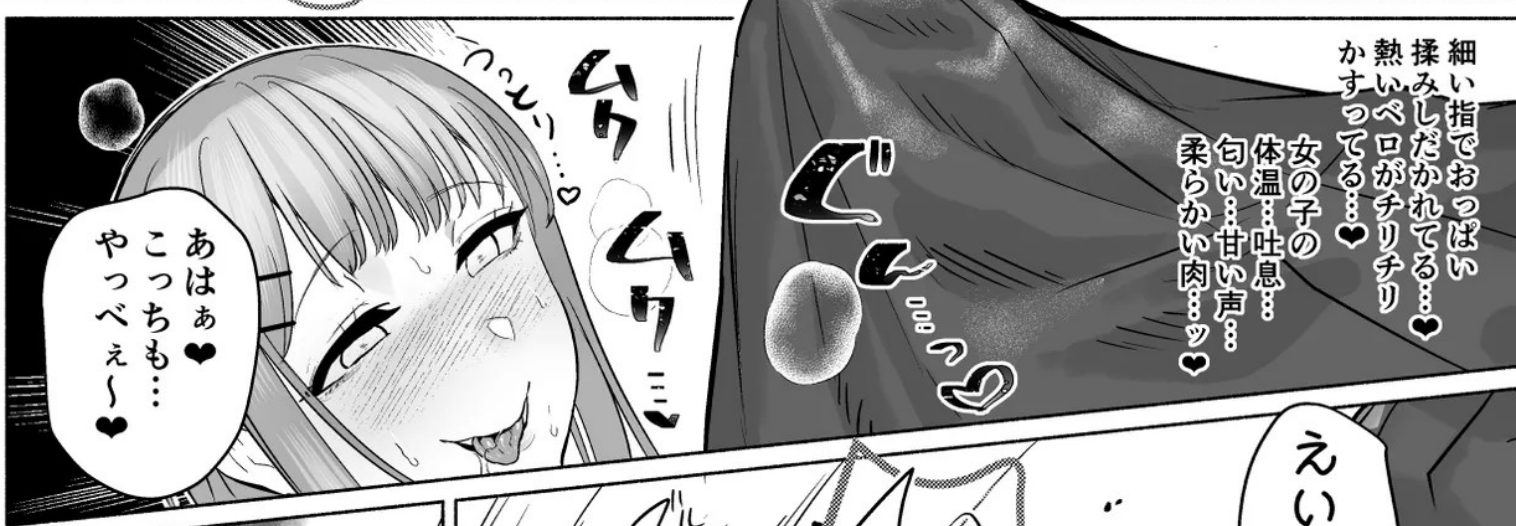
キメこまかくて
指が無限に
沈み込んでやう…♡

それにシミひとつ
ありませんわ…♡
インドア派？



…!!
凜子ちゃんに
ひどいこと
しないで…!!

イイコトさ♪



高貴な家柄ってのは
異物を認めないからね

くだらない…
むしろ僕たちの方が
優れていると思わないか？

僕たちが特別だから
こんなに
気持ちのいいもの
もっているんだよ♡

生チンポが二本っ♡
夢にまで見た光景…♡
エッロ…♡

鈴蘭様あー
おチンポっ♡
チンポ食べたいっ♡

こちら
待て

…清楚なお嬢様も
発情期の牝犬に
できるしね♡

発情した
女の子たちに
囲まれて…

いい匂い…

恥ずかしいところ
見られて…

女の子同士で
兜合わせ
しちゃってる…♡

いやらしい…♡

あゝあ…
ヌルヌルで
キスしたみたいに
糸引いてる…♡

期待してるのかな？

仕方ないな…♡

”よしっ“



女の子のお口…っ♡
すっぽんみたいに
吸い付いて…っ♡

スッポォ…っ♡

熱いお口の中で
ペロが容赦なく
這い回ってるよお…♡

同時にちゅばちゅば
チンポ裏吸われてる…っ♡

いっ♡



うおお…♡はー♡
頭おかしく
なりゆ…♡

チンポ三本もないのにつ
こんなことされたら…♡

い…っぐっ♡

あはあ♡
だーめっ♡
ですわ♡

凜子お姉さま？
我慢弱いのじゃなくて？♡

駄犬は私達だけで
十分ですよ♡

おひ…っ♡
そんなあっ♡



ああ〜ん♥
抜け駆けチンポ
ずるういですわ♥

ハア〜♥
ハア〜♥



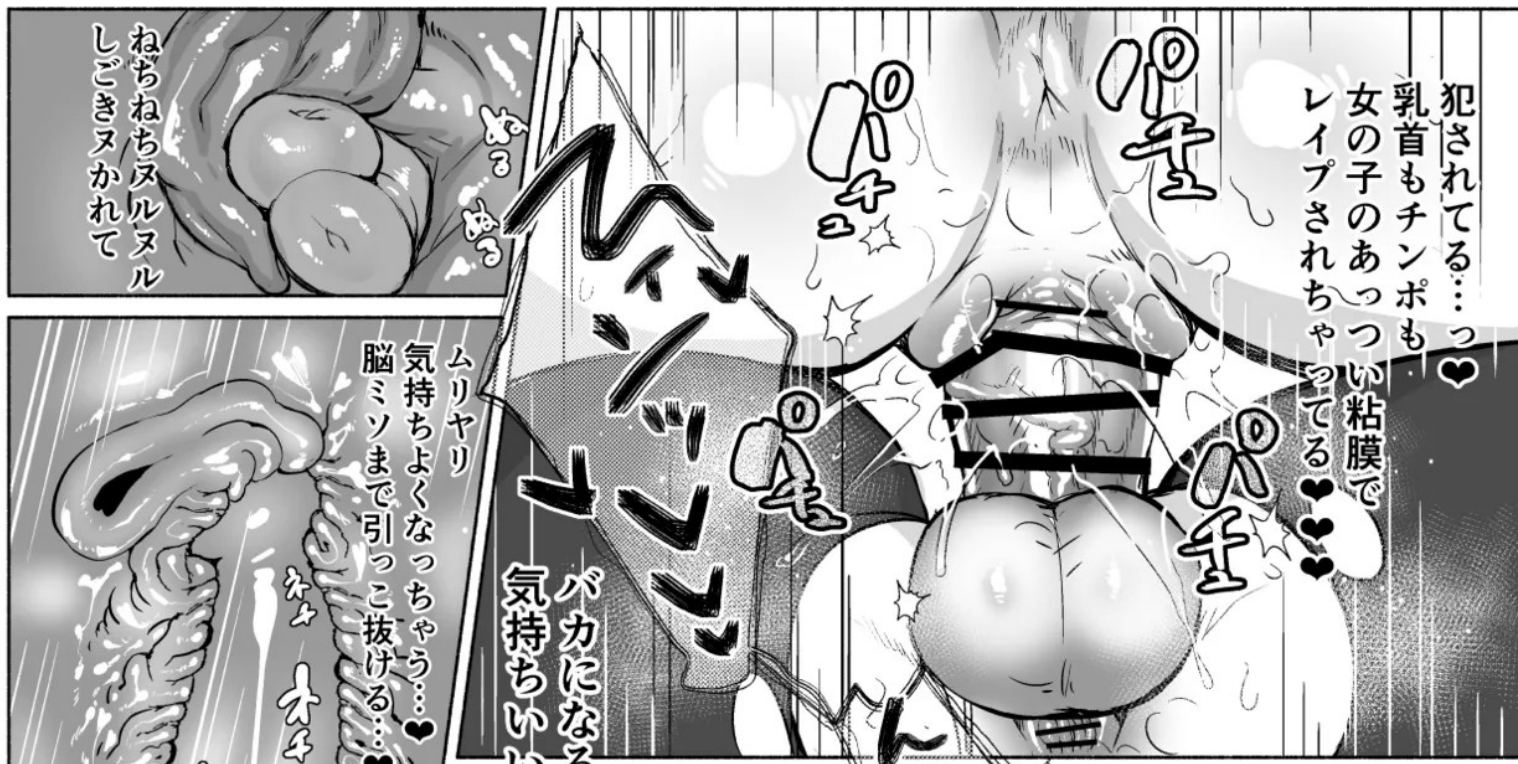
もうっ♥
これじゃ
わたくしだけ

チンポ
無沙汰
ですよ♥



グッ♥
グッ♥
グッ♥

ポッキした
乳首おチンポ
食べちゃい
ますわ♥



犯されてる…っ♥
乳首もチンポも
女の子のあつつい粘膜で
レイプされちゃってる♥♥♥

ハア〜♥
ハア〜♥

ハア〜♥
ハア〜♥
ハア〜♥

バカになる…っ♥
気持ちいいよお…♥

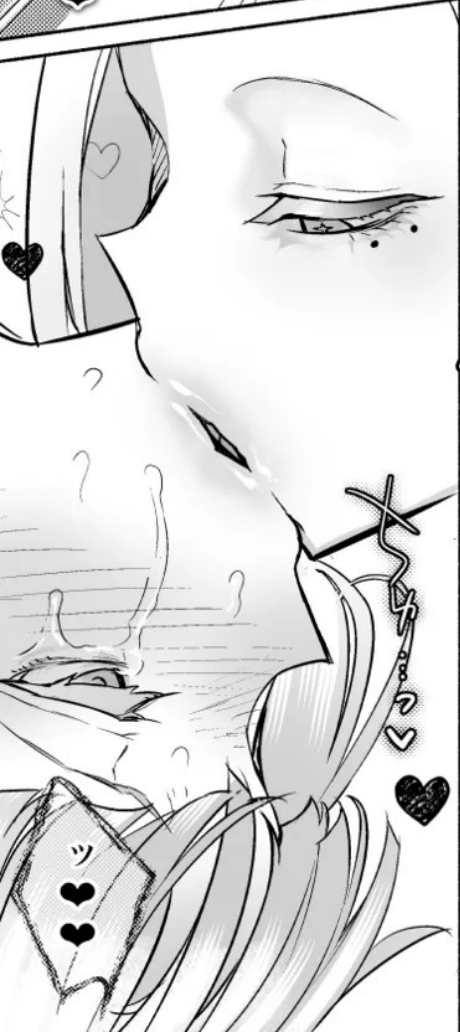


ねちねちヌルヌル
しごきヌかれて



ムリヤリ
気持ちよくなっちゃう…♥
脳ミソまで引っこ抜ける…♥

オオオ♥
オオオ♥





女の子に
犯されて…

イクの
気持ちいい…♡

まだみつともなく
腰振っちゃう…♡

おまんこに
逆らえない…♡

ほらほらあ♡
順番♡

もうマンコ
ムラつきすぎて
キレそうですわ♡

もっとチンポ
ボッキさせて
くださいませ♡

ボッキ
勃起♡♡



「ヤニヤニ」

イク…♡
イクッ♡
イクッ♡

イクッ♡

イクッ♡

イクッ♡

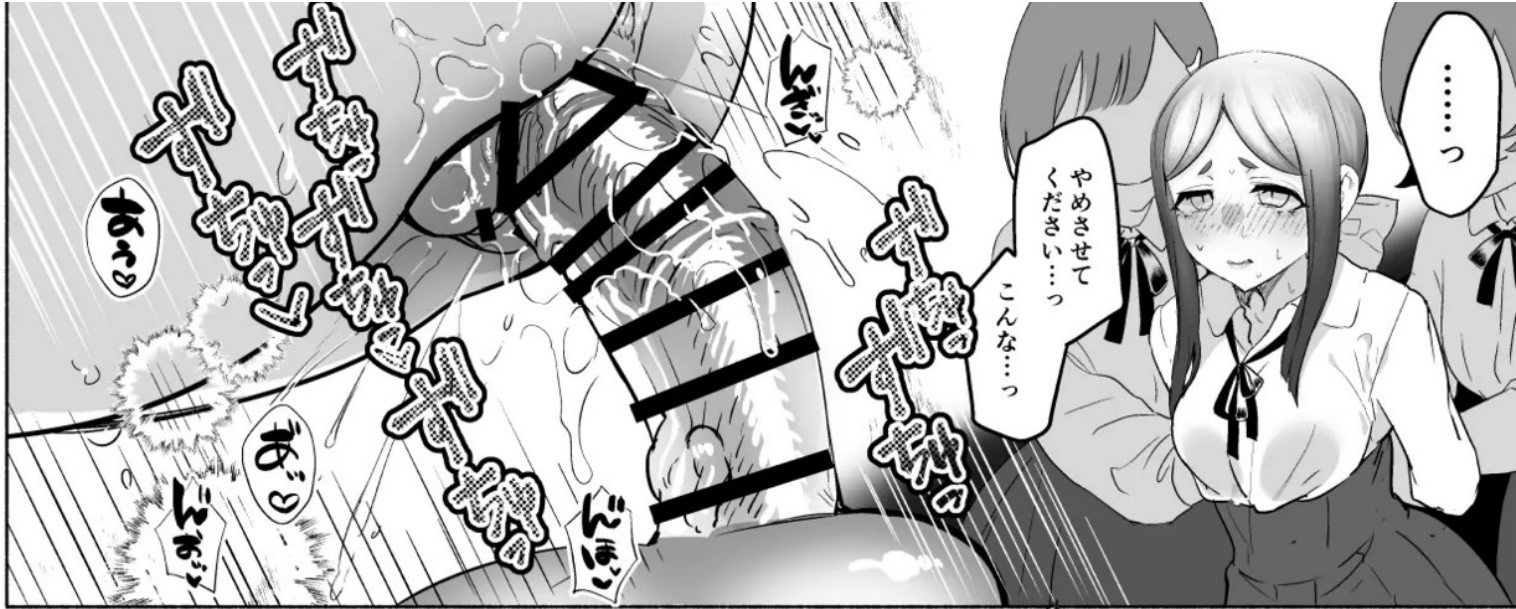
このチンポ
ぶっとお♡

はやくお精子
出して♡♡

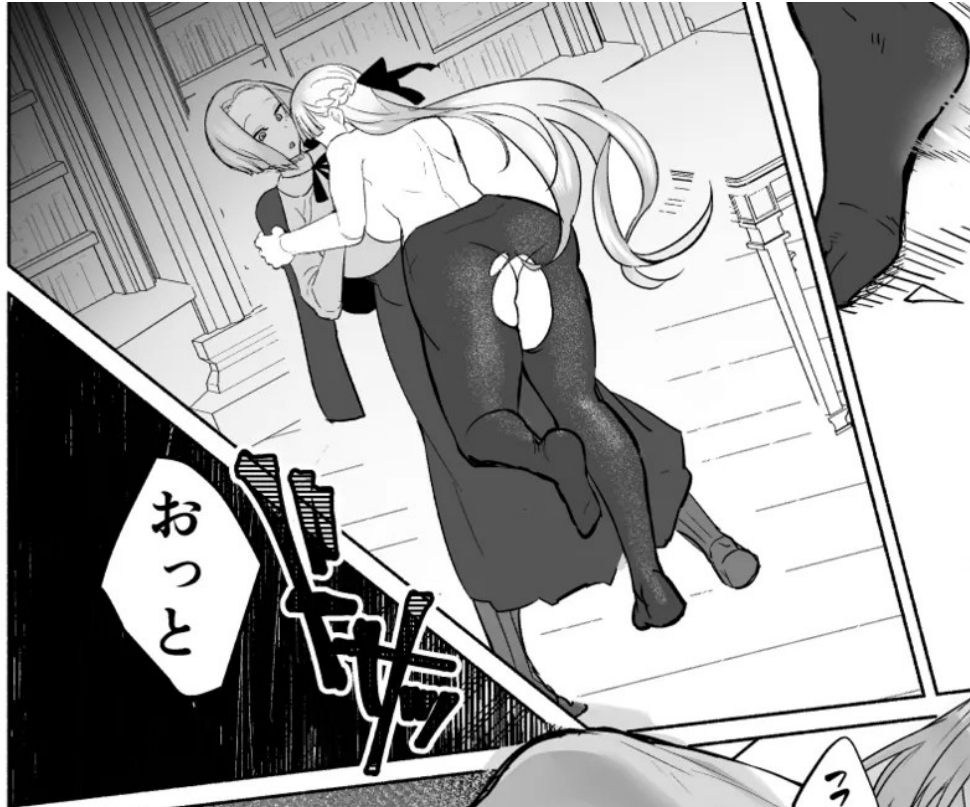
オラ
きもちよく
してくださるおまんこに
お背中バイズリですわ♡

快感逃がそうと
してるのバレバレ♡
ヒザ伸ばしてイケ♡









おっと

ゴッ



ゴッ

ほろろ



もう頭空っぽだと思っただのに...

頑張り屋さんだね
やっぱり君は
見所ある子だ

う...

ゴッ

もこ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

う...

ゴッ

美しい
友情って
やつかな...?

違う—

そんな綺麗な理由じゃない

私のメス戸佐さんと交尾させてなるものかと



男根
本能が勝手に身体を動かしていた

ずっと怖くて逃げてた衝動

こんなにもまっすぐに

勃起して訴えかけていたのに

あの時も

あの時も



あの時も



怖気づいて欲しいものに手を伸ばしもしなかった



犯せばよかった

もう逃げない
何も手放さない

キンタマ
身体の奥から
湧き上がる…

両親
障害も
煽る炎も

ライバル
敵対雄も

犯し尽くせと

メスに
排除すべく

なっ…

まさか

この僕を
犯す気が…!?

よくもまあ
まだ勃起する…

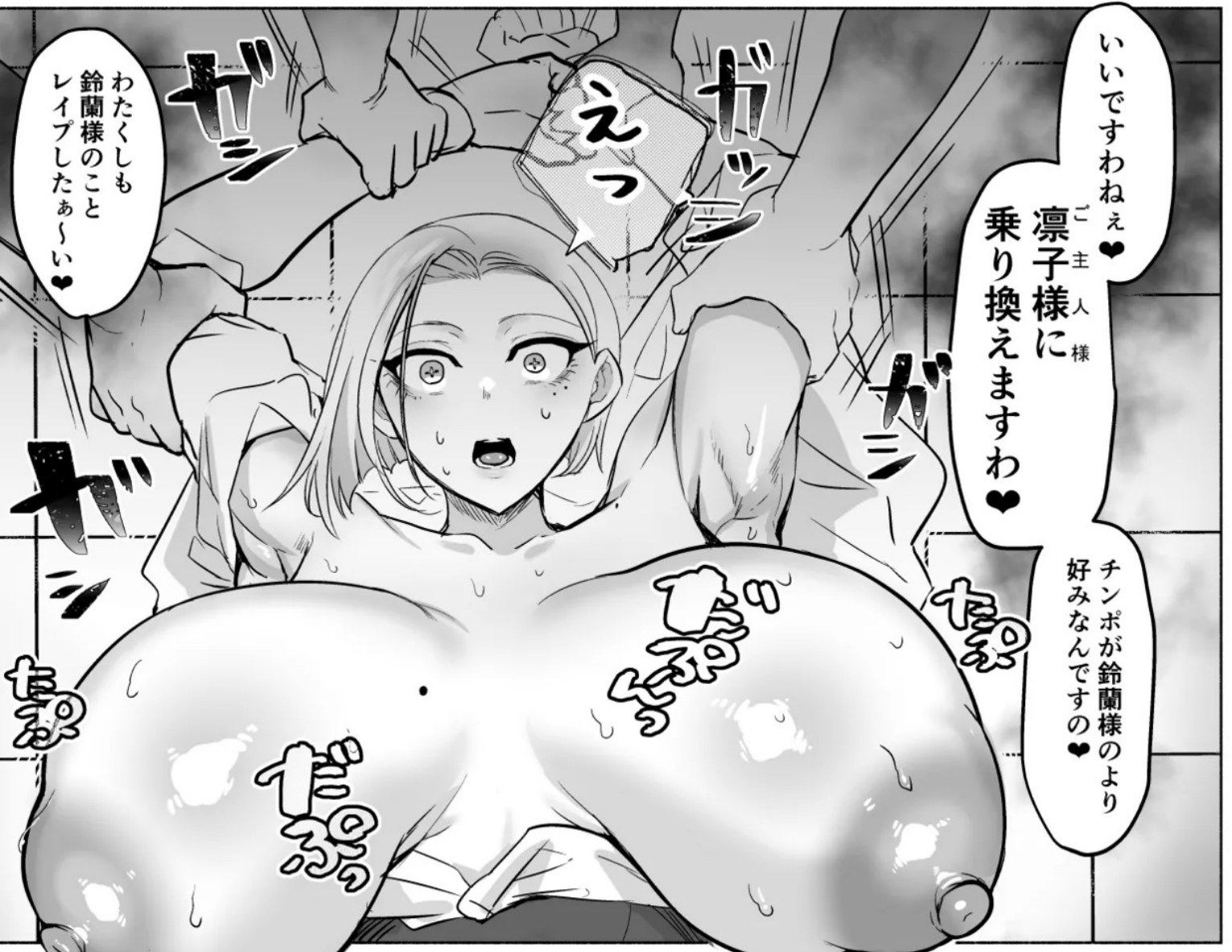
お前たち
遊んでないで
彼女を大人しく
させるんだッ

楽しむのは
その後!



光乃院鈴蘭
彼女を
犯すから

邪魔しないで...



いいですわねえ♡

凛子様に
乗り換えますわ♡

チンポが鈴蘭様のより
好みなんです♡



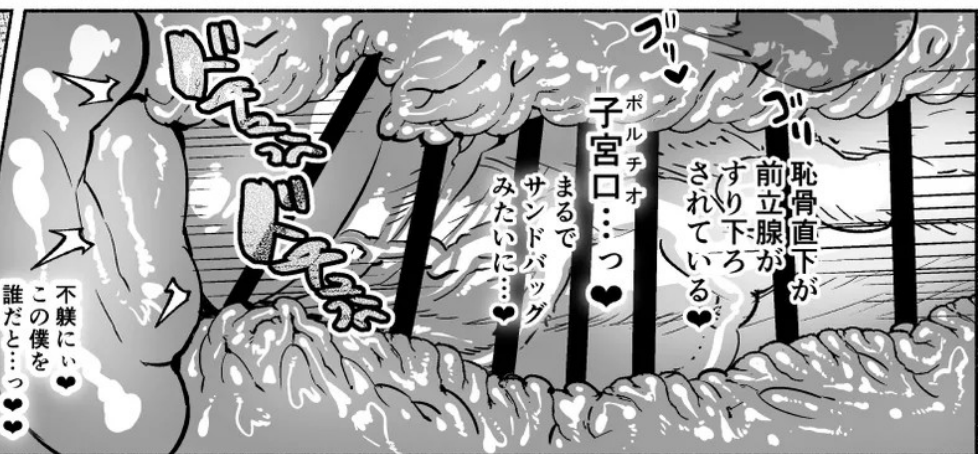
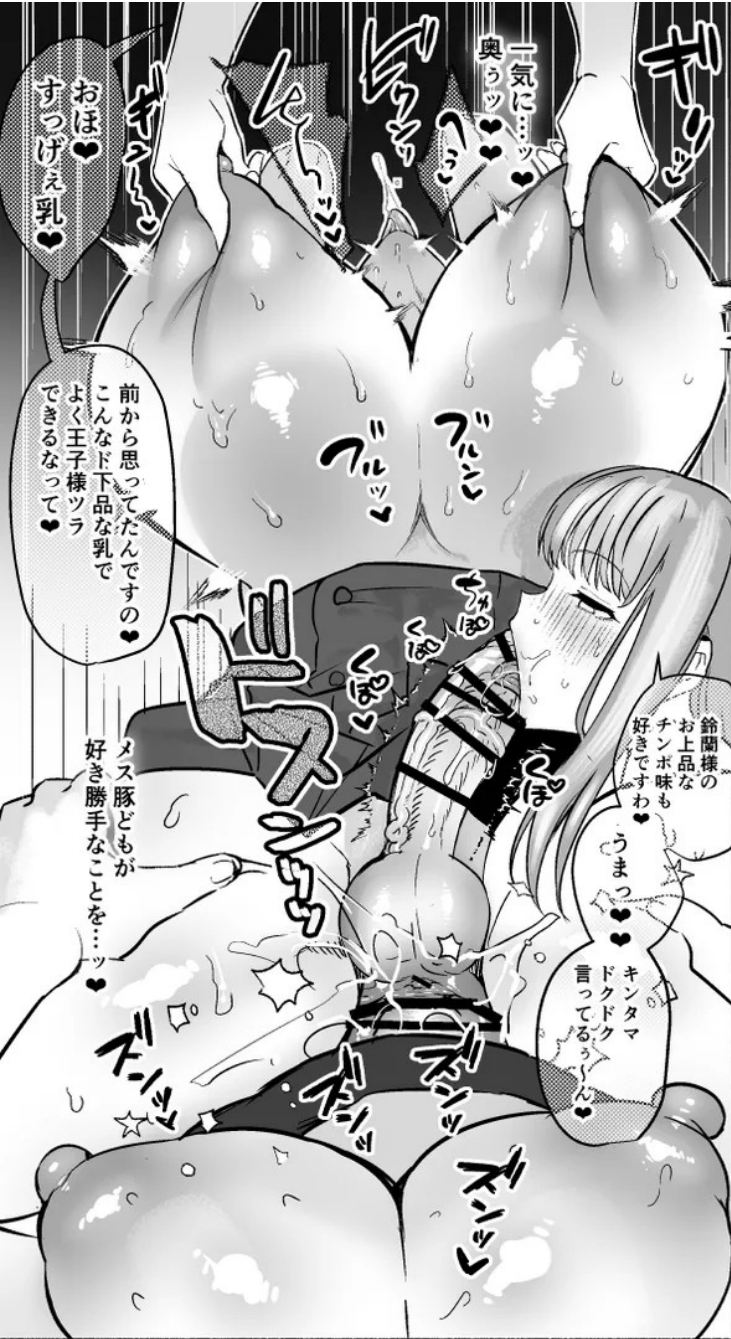
わたくし達もう
脳みそがマンコに
移動してますの♡

クソつまらない
禁欲お嬢様人生は
もうまっぴらですわ♡

マンコで
ぜえくんぶ
決めちゃう♡

鈴蘭様が
教えてくれた
生き方ですわ♡

それは...
そうだけど...!!



大切なものは
渡さない…

…

メスを
横取りされない
ために

僕を逆に
メス扱いッ…?

どうか
している…ッ
身勝手な
オスの
マウント…ッ

この僕が…ッ

オスのマウンティングで…

悦んでいる負け犬…!!

やめろッ
ただメス
唯雌のように
排卵準備をするなッ

…

媚びで愛液を
次々分泌しながら
膣肉痙攣させて…ッ

チンポを抱きしめてる…
心より先に身体が
降伏している…

ち
力つよ…ッ

持ち上げられて
いる…ッ

体重全部
チンポにかかって…ッ
奥う♥追い詰められて
逃げられない…♥

負けている…?

この女に
オスとして…ッ?

おどおどした
童貞臭い乙女
だったのに…

どこで
覚えたんだこんな
ケダモノじみた…♥



なんでこんなものがあるんだ…♡

僕には
いらないのに…



オスの射精とは違う…
深く長い…♡
終わらないメスの絶頂…♡

またっ♡ずっと
イク♡♡♡♡♡



敗けメス
支配される側
になる…♡

小糸色蘭子が消え
真正正銘トップだった
僕の地位が…！



逃げないで
光乃院さん

なっ♡

ぱっ♡



柔らかいメス肉…♡
弱いメスチンポ…♡

鈴蘭さんは
かわいいね…♡



傷の怖く
プライドを守るために
ずっとなんて
いたんだよね

メスになって
もう負けていいの…

幸せから
逃げないで…♡







嫌だ…ッ

認めたら
今まで
何のために…ッ

ありえない…ッ
この僕が…

ダメだ…ッ
すごいっ♡
きもちいい…♡

アクメする
負ける♡
受け入れる
負けるっ♡

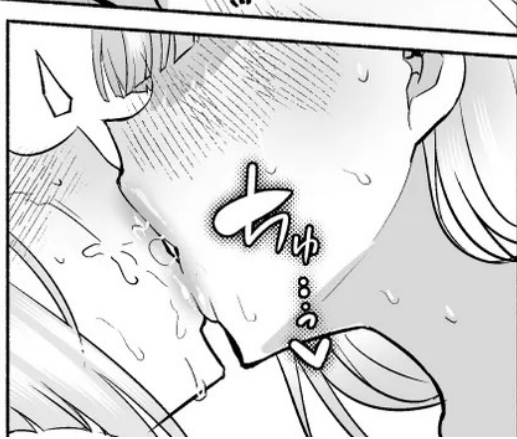
メスになる
負ける…♡♡♡



私のメス
しあわせに
するからね…♡



大丈夫…♡



うっ
おっ



カ
ン

カ
ン

カ
ン

カ
ン

カ
ン

カ
ン

カ
ン

カ
ン

カ
ン

ああ……♡

カ
ン

カ
ン

暖かい…♡

か弱いメスを
愛^{孕ませて}して守ってくれる
眼差し…

きゅ…♡

私、光乃院さんの
弱いところ
好きだよ

たぶ…♡

もう
隠さないで

抱えてるもの
全部私に預けて

ね…♡

ザイメン
支配の証…
注ぎ込まれてる…♡

満たされて…安心する…
愛されてる…気持ちいい…♡

僕はずっと…
何に執着してたんだ…

支配者
犯す側より
敗け
犯される側の方が
ずっと
きもちいい♡



：僕が地位に
執着していたのは

虚栄心のため
だけじゃない

高貴な家柄かつ
求心力のある者は

気に入った
出荷用の生徒を
貰えるんだよ

この学院では
家柄の低い生徒は

超名門学校の令嬢
ブランド家畜
として出荷される

色々な需要に応じて…

小糸色蘭子は
本来出荷される
生徒じゃなかった…

落ち目の家だが
彼女の優秀さで
持ち直していたからね

優秀すぎた
…ってとこかな

学院の内情を
暴露しようと
するとはね…

またとない機会だ
特例で彼女を貰えないかと
理事会にかけあったよ

あの高慢ちきな
ワレメに押し入ってやろう
…と思ってた

僕の玩具に
使いつぶすには
もったいないって

小糸色蘭子は
貰えなかった

彼女の処遇は
理事会で決まった
出荷でも逃亡でもなく

消された

だから悪いけど
僕も蘭子君の
居場所には
知らない

わたくしたち
出荷用でしたの〜!!
ヤッ

あと

聞いたからには
お前たちもすぐ
この学院からは
去った方がいい

自分から
話しといて!

凛子君
君もね

：私
蘭子が戻るまでは
学院に残るよ

そうだね…
嫌われてた

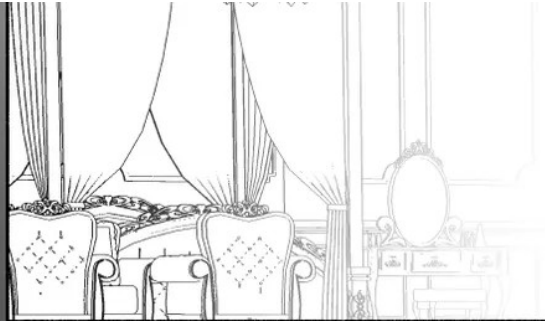
ふうん?

なかよし姉妹って
ワケじゃないんだろう?

：だから
ずっと
逃げてた

でも本当は私
蘭子と仲良く
なりたかった

もう
諦めないよ

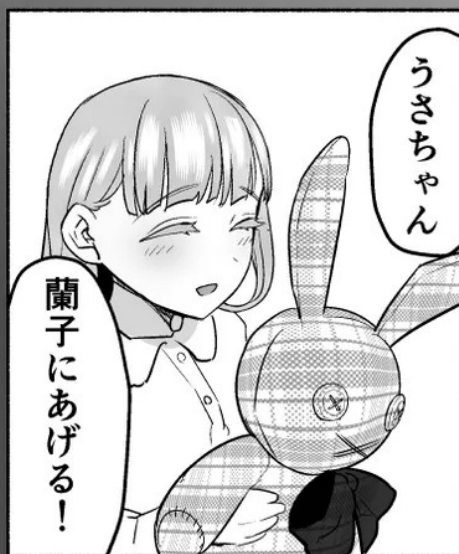


小さい頃は
凜子と
仲が良かった



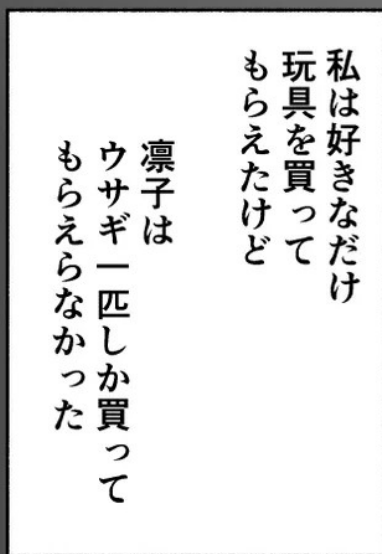
高熱が出て
パパもママも
忙しくて

苦しくて
寂しくて…



うさちゃん

凜子にあげる！



私は好きなだけ
玩具を買って
もらえたけど

凜子は
ウサギ一匹しか買って
もらえなかった



なんで私に
譲るの…？

バカなやつ…

泣かないで…



凜子と一緒に
いるからね



凜子は療養してるのよ！
ちょっつかいかけないで！



やめてっ！
凜子のために
きてくれたの…！



凜子は
優しい子ね…

ウチの子が
あなただけなら
良かったのに…

だ、ダメだ…
コイツ…！

学校…?
私はいいよ…

なんでそこから
出てこないの

一緒にいるって
言ったのに

うそつき…

その根暗な部屋を
徹底的に照らして

アタシができることは
アンタもできるのに

引き摺り
出してやる

一緒なんだから
アタシたち

小糸色さんは
我が校でも
目を見張るような
優秀さですね

替えの効かない
存在ですよ
卒業後も各界が……

ぜひウチにも
小糸色さんのような……

いる……いるわ……一人だけ
アタシの代わりに
なれる人間が……

ねえ鈴蘭

この学院出身者って
行方不明者が多いのね……

公表したら
どうなっちゃうのかしら……
この学院……終わっちゃう？

黙ってないで
なにか言ったら？

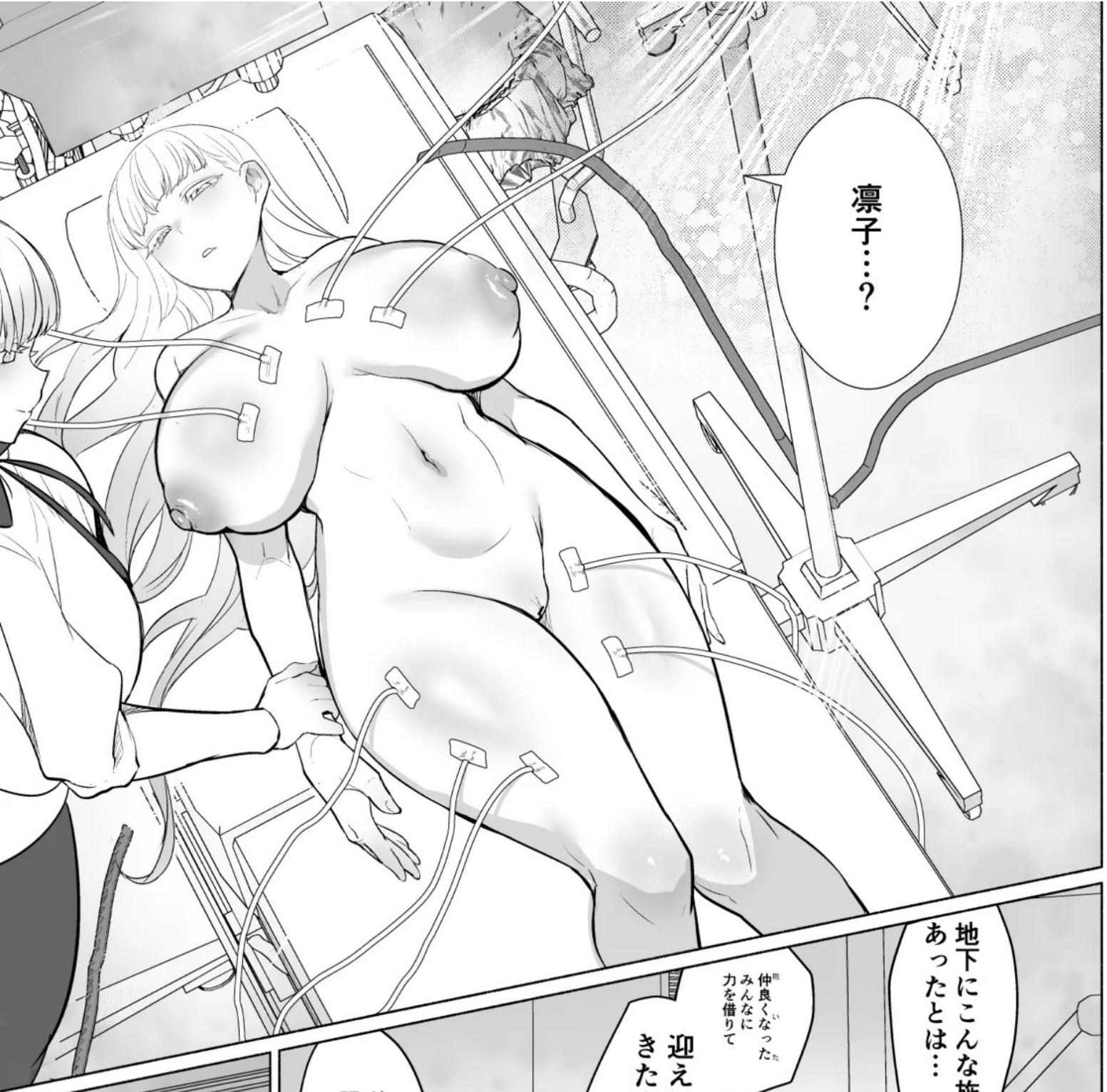
……

哀れね……

アンタの居場所
もうどこにも
ないんじゃない？

私が……消えたら





凜子...?



地下にこんな施設
あったとは...

はく製にでもする
つもりだったのか?

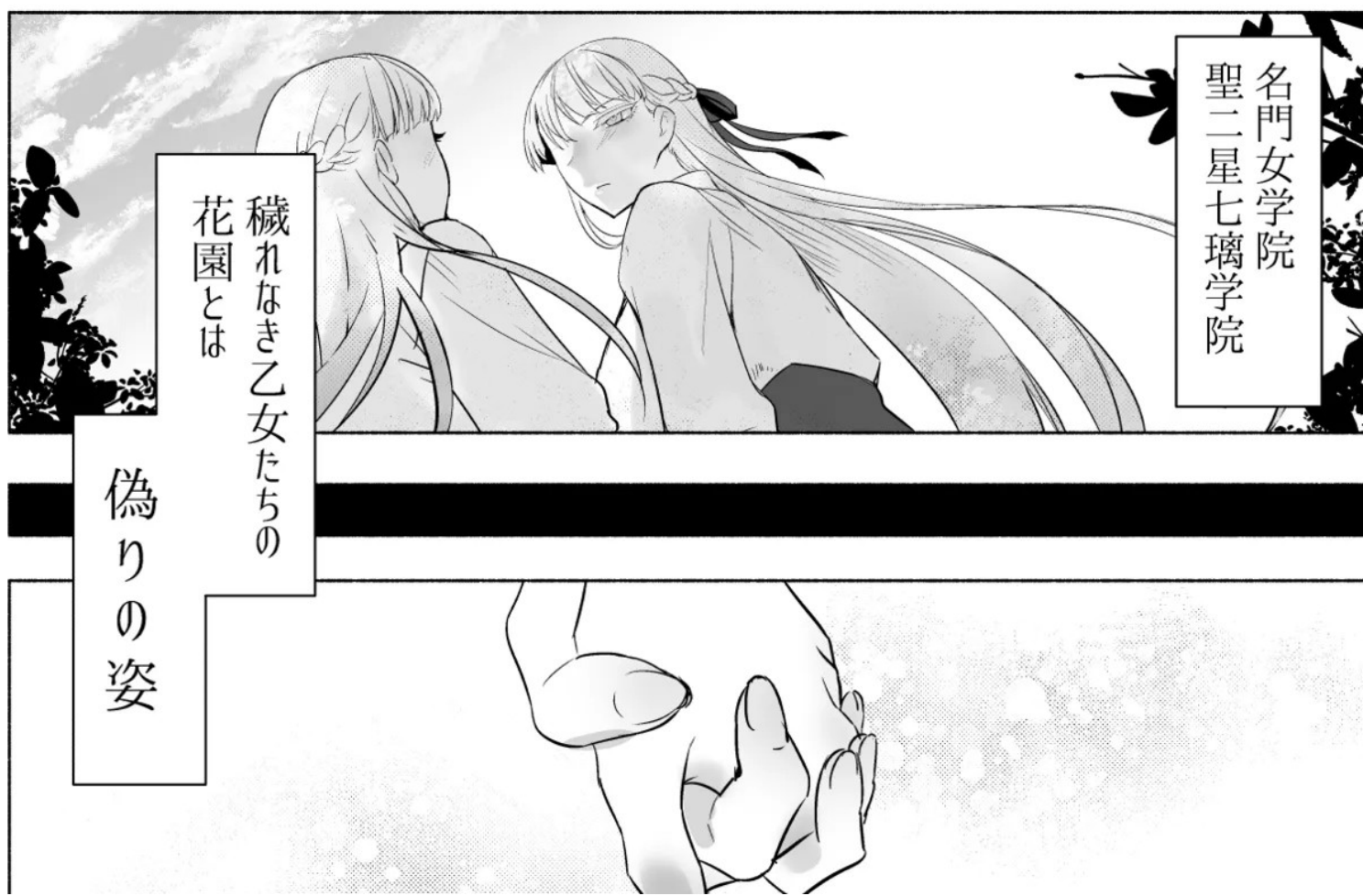
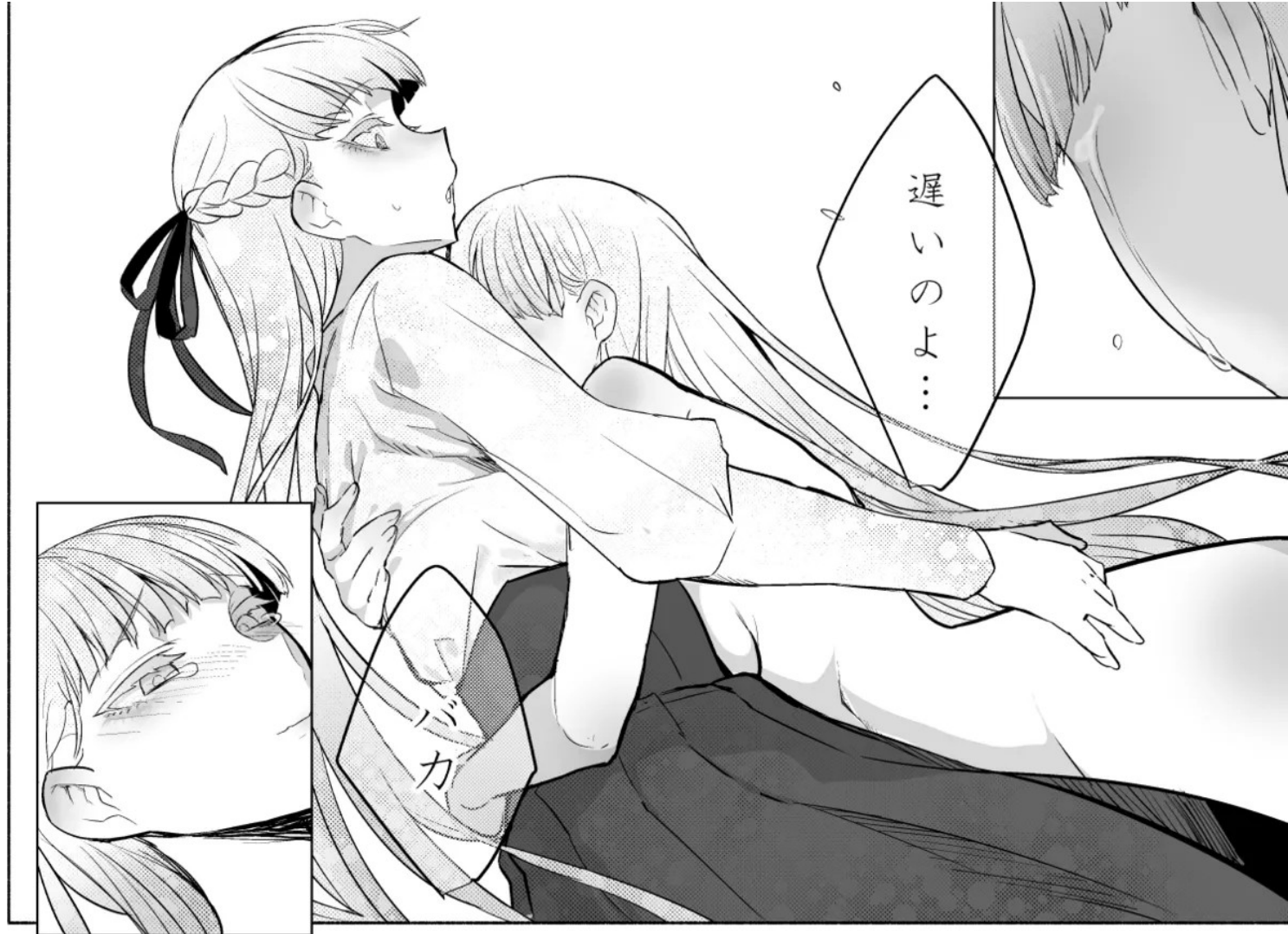
仲良くなった
みんなに
力を借りて

迎えに
きたんだ...!

外は他のメスどもが
張ってますわ♥

急いで...
あと10分は
安全ですけど

クッ



偽りだらけの
少女たちは

最も高い位置に咲く花
ふたなりの少女を戴く

聖ふたなり学院の
インポスター



小糸色 蘭子 (こいとしき らんこ)

- ・ 非ふたなり
- ・ 体形は凜子とほぼ同じ
- ・ たが少しだけ胸が小さい

幼少期にぬいぐるみを譲られただけで
凜子を愛してしまった
極端で不器用で努力家な少女
他人、特に大人を信頼できず
表面上は他人と親交を深められるが
本当に友達といえる存在はいない
学院での人気ツートップである
光乃院鈴蘭と親密な仲なのでは？と
女子校特有の噂をされていたが
実際は殺伐とした関係
戸佐みずきには畏怖されていたが
実は蘭子は少し好感を持っていた
(小柄さと逆境にめげない点を
気に入っていた)



小糸色 凜子 (こいとしき りんこ)

- ・ 身長165cm
- ・ Gカップ
- ・ チンポおおきい

両親による差別と
蘭子の努力が裏目に出た結果
卑屈に育ち無力感に苛まれる
自分には誰も期待していないと考え
何もせず引きこもってシコリまくっていた
実際は蘭子の言う通り
努力すれば同じ結果を残せる
相棒(チンポのこと)を抑圧していたが
最近解放し、自信を取り戻し…過ぎて
超自己中のクソヤリチンになっている
基本的に温厚な性格だが
一回ハメたメスは自分のものだと思ってるし
絶対ゆるらない



【学院のきまり】

ソックス、タイツは無地が好ましい
靴は指定のストラップシューズがアーク

キャラクター紹介

光乃院 鈴蘭

(ひかりのいん すずらん)

・身長173cm

・Bカップ

・ちんぽが白い

ビジュアルと家柄を鼻にかけ
プライドが高く、王子様気取り
だが全身が弱い

(故に相手を先に支配したがる傾向にある)

実際能力は全体的に高いが

言ってしまうと蘭子の下位互換

(胸と尻と身長の数値は勝ってる)

かなりの名家の生まれだが

ふたなり故に学園に押し込められ

せめて学院で頂点に立ち

周囲を見返したいと思っている

戸佐 みずき (とさ みずき)

・身長145cm

・Bカップ

・非ふたなり

学院運営の孤児院出身
学科の成績による特待生だが
蘭子に首位を奪われ
ただでさえよくなかった
学内での扱いが悪化した

蘭子に対しては
上品な外面と苛烈な内面との
差を感じ取り畏怖の念を抱く
人生で凜子のようなタイプと
接したことがなかったせいか
猛烈に懐いている

あまり栄養状態がよくなく
同年代の中では発育が悪い

【学校のきまり】
冬は指定の黒いロカ
コートを着用



【学院のきまり】
カーディガンは
無地を着用



あとがき

こんにちは、この本を手にとっていただき本当にありがとうございます♡

お嬢様学校ものが大好きなのでとても楽しかったのですが、好きすぎて尺が足りず
今まで出したエロ同人で一番ページ数が多いのですが
それでもちょっと打ち切りみたいになってしまって ちょっと無念

本当は凜子と蘭子のエロシーンも描きたかったけど
マジで締め切りがヤバいので泣く泣くカット
没にしたキャラとかもいるので
なんかの折を見て色々描きたいです

出したキャラみんなお気に入りです
皆様にも誰か気に入っていただけたら、楽しんでいただけたら嬉しいです

また読んでもらえるように頑張ります
読んでくださった皆様がご健康でありますように♡

みなさま ありがとうございます
まけた♡

聖
ふたなり女学院のインポスター

発行日	2025/5/4
発行者	油鍋式/puru
Twitter	https://twitter.com/pu_ru0623
lit.link	https://lit.link/puru0623
連絡先	aburanabeshiki@gmail.com
印刷所	大陽出版(株)

むく諸 様 (@mukuimo_h8)
ulo 様 (@ulohoho_n)
の巣 様 (@works_ogw)
むりかもめ 様 (@murimurikamome)
お手伝いいただき
本当にありがとうございました!!!!

禁 無断転載
Do not repost to other sites.
AI学習使用
Do not AI Learning.

油 鍋 式

2025.5.4

